

令和7年7月2日

「第4回 障がい者活躍推進ワーキングチーム」会合を開催
～ 「障害者雇用 ～精神・発達障がいのある人たちと共に～」と題する
講演会を行いました～

(一社)日本物流団体連合会(略称:物流連)は、6月25日(水)、東京都千代田区の全日通霞が関ビルにおいて、「第4回 障がい者活躍推進ワーキングチーム(座長:東京女子大学 二村真理子教授)」会合を開催しました。

同ワーキングチームは、物流業界の人材不足等の課題解決へ向けたダイバーシティ推進の一環として、また企業の社会的責任(CSR)を果たすうえでも今後ますます障がい者の活躍の推進が望まれることから、物流業界における障がい者雇用の現状と課題を調査し、障がい者の活躍推進についての対応策等を検討する目的で、昨年9月に物流連の経営効率化委員会のもとに設置されたもので、物流連会員企業・団体から16名が委員として参加しています。

4回目となる今回は二部制とし、第一部では独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)より講師をお招きして「障害者雇用 ～精神・発達障がいのある人たちと共に～」と題した講演を行い、これまでJEEDが企業から受けた障がい者雇用促進についての相談事例のなかで、特に精神・発達障がい者の雇用促進、定着に成功した事例についてご紹介いただきました。

まず初めに、企業にとって障がい者雇用が思うように進まない様々な理由について実例を挙げて説明された後、当該企業が当初抱えていた多くの課題と、それら課題に対しどのような取り組みを行ったことで雇用数を増やしかつ定着するに至ったかを具体的なポイントを踏まえながら詳細に解説していただきました。続いて、地域障害者職業センターで行っている各種の支援業務の内容や定着支援(ジョブコーチ)について詳しくお話いただき、質疑応答の後、講演会は終了しました。

第二部の会合では、障がい者の活躍推進へ向けた先進的な取り組みを行っている会員企業5社への個別ヒアリングの調査結果をとりまとめて、それについて意見交換を行いました。

最終回となる第5回の会合は8月18日(月)に開催予定で、9月に発行を予定している最終報告書の内容のとりまとめを行います。

物流連では今後もさまざまな活動を通じ、ダイバーシティやCSR推進の取り組みを進めていきます。

以 上
事務局 中野



JEED よりお招きした講師のお二人



座長の二村教授



全体風景